

JACET Kansai Newsletter

No. 92 May 15, 2022

一般社団法人大学英語教育学会関西支部 (JACET Kansai Chapter)

支部長：植松 茂男（大手前大学）(Chapter President: Shigeo UEMATSU, Otemae University)

事務局：〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5 龍谷大学 社会学部 今野 勝幸 研究室内

(Chapter Office: c/o Katsuyuki Konno, Faculty of Sociology, Ryukoku University)

URL: <http://www.jacet-kansai.org/> (関西支部へは左の URL からご連絡ください)

コロナ禍を考える

植松 茂男 (支部長)

支部長を拝命して 4 年目に入りました。最終年度となります本年度もどうかよろしくお願ひ申し上げます。さて、2020 年の 1 月から先の見通しもつかず延々と続けてきたコロナ禍ですが、ワクチン接種が進んだおかげでようやく収束の兆しが見えてまいりました。それに呼応するかのようにほとんどの大学で、この 4 月から対面授業が再開されました。まだマスク着用、体温測定、手の消毒などは継続されていますが、授業のためにキャンパスに戻ってきた学生さんの、活き活きとした表情がとても印象的です。対面コミュニケーションの機会を奪われるという想定もしなかった事態に見舞われ、教育に携わる者、特に語学教育に関わるわれわれ教員は大きな試練に立たされました。しかし、こうした危機的状況の中でも、新たな学びはあるもので、遠隔授業のためのあらゆる試行錯誤の中から、数々の技術革新、新たな教育効果、日常業務上の多くのメリットが報告されています。

Charles Dickens の *A Tale of Two Cities* の冒頭に、“It was the best of times, it was the worst of times...”で始まる印象的な一節があります。小説自体はフランス革命の時代、パリとロンドンで時代の荒波に人生を翻弄される若者 3 人の話ですが、コロナ禍も現時点で罹患者 5 億人、死者 600 万人を超える、いわばわれわれが避けて通れない時代の試練であります。こうした危機に晒され、人はそれまで当たり前だったものに対して感謝することを知り、また一方でそれまでなかつた進化を遂げるものかもしれません。今後、社会で広く対面とオンラインの併用が進むことと思われます。JACET を含む学会活動もその例外ではありません。

また、奇しくもコロナ禍が始まった 2020 年は、米国 の the University of Michigan (Ann Arbor) で、Teaching English as a Foreign Language が学問的に提唱されてから 75 年目という節目に当たる年でもありました。世界中の語学教育は繰り返しますが、対面コミュニケーションが不可という前代未聞の困難に直面しました。殊に遠隔授業にさほどの実績やノウハウ

がないわが国では、当初は授業の構築に途方に暮れたものです。

一方 2021 年度支部行事の方は、コロナ 2 年目ということもあり、2020 年度ほどの混乱もなく全て無事に実施されました。詳細な内容は JACET 関西 HP をご覧ください。多忙な校務にもかかわらず、支部運営を支えてくださった総務幹事（正）の仁科恭徳先生、財務幹事（正）の松田紀子先生、広報幹事（正）の多田さおり先生、紀要幹事（正）の斎藤倫子先生には心より感謝申し上げます。また、支部大会の企画から運営までご尽力いただいた研究企画委員の先生方、ことに副委員長をお務めいただいた石野未架先生、矢野浩二郎先生、山岡華菜子先生、山下美朋先生、ハーバート久代先生に深くお礼申し上げます。ことに吉田諭史先生には委員長として取りまとめに細心のご注意を払っていただき、支部大会を成功裏に導いて下さりましたことに、改めて感謝の意を表したいと思います。

さて、この 3 月末にはみなさまのお手元に *JACET KANSAI JOURNAL (JKJ)* 24 号が届いたことと存じます。編集委員長の里井久輝先生を中心に中田賀之先生、玉井史絵先生、そして古賀功先生からなる編集委員の先生方のご尽力、査読に関わっていただいた先生方のご献身の賜物です。どうぞお目通し下さい。また本年度末(2023 年 3 月)刊行予定の第 25 号は、JACET 関西支部 50 周年記念号であり、特集を企画しております。また投稿分野も新たに見直されます。これらについては昨年度から編集委員会内で既に話し合いが始まっています。

この 2 年以上にわたって大きな試練を経験した学会・研究活動ですが、2022 年 4 月現在、JACET には、北海道支部 2、東北支部 1、関東支部 18、中部支部 6、中国・四国支部 2、九州・沖縄支部 3 と関西支部 10 を合わせて 42 の研究会(SIG)が活動しています。どのような研究会があるのかは是非 JACET 本部 HP をご覧下さい。関西支部では複数の研究会から、コロナ禍でオンライン開催に切り替えたところ、全国から申し込みがあり参加者が増えたというご報告を

頂いております。

研究会は 5 名以上の会員が集まれば設立できます。設立趣意書を本部に提出し、理事会の承認を得れば、一定額の助成金ももらえますし、研究会としての発表の機会も多く設けられています。是非この機会に、新たな英語教育のあり方を語り合う研究会の発足を願ってやみません。既存の研究会にない新たな課題を模索されておられる先生方もどうぞご一考下さい。このあたりで改めて、先生方のコロナ下での数々の取り組みを整理・検証してゆく必要があると思思います。

最後になりますが、6月18日（土）の第一回支部講演会は、立教大学で翻訳・通訳学の最先端を研究しておられる山田優（まさる）先生をお招きして、ご講演をいただきます。日米の企業・大学で御活躍してこられた先生の卓越した見識に触れる好機です。詳しくは同封のフライヤーをご覧ください。

それでは皆さんにオンラインの講演会でお目にかかることがありますことを楽しみにしております。

■ 今年度のイベント・カレンダー ■

今年度に予定されている JACET 関西支部の活動です。なお、一部日程が例年とは大幅に時期が異なります。ご注意ください。また例年最初のニュースレターでお知らせしております『JACET Kansai Journal (JACET 関西支部紀要)』の投稿原稿締切は、予定が決まり次第、支部ホームページや次号にてお知らせします。

日時 (Date)	行事・概要 (Event)
2022/6/18	第1回支部講演会・支部役員会@オンライン Kansai Chapter 1st Lecture Meeting / Chapter Board Meeting, Online
2022/10/15	第2回支部講演会・支部役員会@オンライン Kansai Chapter 2nd Lecture Meeting / Chapter Board Meeting, Online
2022/11/19	第3回支部講演会・支部総会@オンライン Kansai Chapter 3rd Lecture Meeting / Chapter Board Meeting, Online
2023/3/4	支部大会・支部役員会@オンライン Kansai Chapter Conference / Chapter Annual Meeting, Online
2023/3/31	『JACET Kansai Journal (JACET 関西支部紀要)』25号刊行 Publication of <i>JACET Kansai Journal</i> No. 25

なお、上記イベントは日程・場所・内容等に変更が生じる場合がございます。最新情報は支部ホームページ (<http://www.jacet-kansai.org/>) にて随時更新しておりますので、ご確認ください。

■ 2022 年度 JACET 関西支部大会 ■

2022 年度の支部大会は、以下の日程で開催されます。

日時：2023年3月4日（土）

場所：オンライン開催（状況によっては近畿大学 東大阪キャンパスの利用も検討中）

大会テーマ：台頭するテクノロジーと変わりゆく価値観を見据えた英語教育

基調講演・招待講演・ワークショップまた一般発表の申し込みなどの詳細は、次号にてお知らせします。

Kansai Chapter 2022 Conference

The Kansai Chapter 2022 Conference will be held as follows.

Date: March 4, 2023

Venue: Online (or a hybrid form at Kindai University, Higashi-Osaka Campus)

Conference Theme: English Education with Rising Technology and Changing Values

The details of the conference will be informed in the next newsletter.

■ 2021 年度第 3 回支部講演会の報告 ■

2021 年度第 3 回支部講演会が、2022 年 3 月 19 日（土）にオンラインで開催されました。講演には大変多くの方々にご参加いただきました。講師の飯田毅先生から、今後私達英語教員が、どのように授業の実施と運営に向き合っていけばよいのか、非常に示唆に富むご講演を頂きました。質疑応答も含めて、非常に学び多き充実した時間となりました。次回も多くの方のご参加をお待ちしております。

日時：2022 年 3 月 19 日（土）15:30～17:00

場所：オンライン（Zoom）

演題：大学経営と大学教育改革は日々の英語授業実践から

講師：飯田 毅 先生（同志社女子大学学長）

The Kansai Chapter Third Lecture Meeting of the 2021 academic year was held online on Saturday, March 19th via Zoom. The speaker, Prof. Tsuyoshi Iida, gave a talk on English education in Japan from the view of educational reform and course management.

Date: Saturday, March 19, 2022

Venue: Online (Zoom)

Title: University management and reform in university education begin with practices in classroom ELT research.

Speaker: IIDA, Tsuyoshi (President of Doshisha Women's College of Liberal Arts)

■ 2022 年度第 1 回支部講演会のお知らせ ■

2022年度第1回支部講演会は、下記の通り山田優先生による招待講演を予定しております。皆さまのご参加をお待ちしております。詳細は、支部ホームページ（<http://www.jacet-kansai.org/meeting.html>）をご覧ください。

1. 日時：2022年6月18日（土）15:30～17:00
2. 場所：オンライン（アクセス情報は後日お知らせします）
3. 演題：機械翻訳を英語教育に活用するために～TILTからMTILT～～
4. 講師：山田 優先生（立教大学）
5. 概要：AIの発展により翻訳精度が飛躍的に向上した機械翻訳（MT=Machine Translation）を、英語教育に応用・活用しようとする動きが高まっています。ライティング学習支援を中心に、すでにMTの活用とその学習効果に関する実践報告も数多く出ている。しかし、実際にMTをクラスルームで活用するとなると、教える側としては不安も多いだろう。

このような状況に鑑み、本発表では、MTを英語教育に活用するために、1) 教員として心得ておくべき事をまとめ共有し、2) 先行研究とこれまでの発表者の実践をベースに、効果的かつ実用的なMTの英語学習のための活用方法を提案する。1)については、MTの技術的仕組み、実力、翻訳エラーの問題、サービス利用の際の著作権・倫理の問題を再確認する。2)については、関連先行研究と実践報告の内容を踏まえ、翻訳の外国語教育への応用（TILT=Translation in Language Teaching）の概念をベースに、MTを活用したMTILT（MT+TILT）を提案する。

6. 参加費：JACET会員・非会員共に無料。
7. 使用言語：日本語

Kansai Chapter First Lecture Meeting of AY 2022

The Kansai Chapter First Lecture Meeting of the 2022 academic year will be held as follows:

1. Date: Saturday, June 18, 2022, 15:30-17:00
2. Venue: Online (TBA)
3. Title: MTILT: Machine Translation in Language Teaching
4. Speaker: Prof. Masaru Yamada (Rikkyo University)
5. Abstract: Machine translation (MT) has dramatically improved, and it is increasingly being applied and utilized in teaching English. Numerous reports have been published on the use of MT, mainly in students' writing support. However, teachers may have concerns about using MT in the actual classroom.

This presentation will first provide things English teachers must know about the application of MT in teaching, including its characteristics and quality limitations, and copyright/ethical issues in using the free MT service. Then, the author will propose a method called MTILT (MT+TILT) by drawing on ideas from

Translation in Language Teaching and explaining the effective and practical use of MT in English teaching.

6. Fee: JACET members and nonmembers, free;
7. Main language: Japanese

Details will be available at the Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org>).

■ JACET 第61回国際大会のお知らせ ■

2022年8月24日（水）から26日（金）までオンラインにて大学英語教育学会（JACET）第61回国際大会（オンライン、2022）が開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。

テーマ：デジタルトランスフォーメーションのグローバルな進展における言語文化教育の再設計

日程：8月24日（水）～8月26日（金）

場所：オンラインでの開催

主旨：

感染症の拡大を契機として、大学ではオンライン授業が特別なものではなくなり、授業形態の選択肢の一つとなった。その中で、対面型教育の教材や教授法、評価方法の限界や問題点も見えてきた。教育における情報通信技術の浸透は人々の意識を変え、同時にこれまでの教育方法や学習環境を再編し、変革する動きを見せている。その一方で、物理的な移動が制限されるにいたって、国際化や国際交流のあり方についても一度振り返るべき時期にある。国際学会や留学など、当たり前であった人的交流までもオンライン化される状況において、画面越しの国際交流や国際理解を深めていくことは可能なのか。このような問い合わせに向き合うべき時代に我々は置かれている。そこでJACETは、創立60周年記念国際大会を機に、「言語を通じた社会問題の解決」という幅広い視野で問題解決に取り組む応用言語学の理念に立ち返り、英語を含む様々な言語の教育や文化の理解に努める姿勢を打ち出した。

九州・沖縄支部が担当し、オンラインで開催される大学英語教育学会（JACET）第61回国際大会（2022、オンライン）では、このような状況を踏まえ、我々が取り組むべき課題として、言語文化教育の「目標・環境・技術」の三つの観点に着目し、これらの再編・改革について議論を深めたい。「目標・環境・技術」の三点はそれぞれ独立した問題ではなく、相互に深く関係し合っている。どれか一つを改めれば良いというものではなく、一体として、それぞれの専門家が知恵を出し合っていかなければならぬ。たとえば、海外留学に行くことができなくなった場合の国際化教育を取り上げると、教育の目標はどうあるべきか、どのような環境を整備するべきか、より良い教育を実現するためにどのような技術が活用できるのか、といった問題がある。これらの

問題に個別に取り組むのではなく、それぞれの制約と可能性を考慮した上で、最善の解決策を見出していく姿勢が求められている。我々が現在模索している新しい方法論や価値観の形成ならびに人工知能に代表される高度情報通信技術の導入をめぐる議論は言語文化教育に携わる者が避けて通れないがゆえ、世界中の教育・研究者の積極的な参加を期待したい。
(<https://www.jacet.org/convention/2022-2/>)

The 61st JACET International Convention (Online, 2022)

Theme: Redesigning of Language and Culture Education in the Global Process of Digital Transformation

Date: Wednesday, August 24—Friday, August 26, 2022

Venue: Online

Abstract:

Triggered by the spread of infectious disease, online university classes are now an option in classroom delivery and no longer a special undertaking. With this development, however, the limitations and problems of face-to-face educational materials, and teaching and evaluation methods, have become clear. Indeed, the penetration of information and communication technology into the field of education has caused not only a change in people's consciousness but started a movement to restructure existing teaching methods and learning environments. With physical movement restricted, we are also being called upon to examine approaches to internationalization and international exchange. In a world where the ordinary human interactions that occurred at international conferences and while studying abroad have gone online, how is it possible for international exchange and understanding to deepen through computer screens? The world has brought before us such a question to consider. It was in this context that JACET used its 60th Anniversary International Convention to return to the basic principle of applied linguistics, namely cultivating a broad view toward "solving social problems through language," and to confirm its intent to promote both cultural understanding, and the understanding of language education, including that of English and other languages.

With this background, at the 61st International Convention of the Japan Association of College English Teachers (JACET) to be handled by the Kyushu-Okinawa Chapter, and to be held online in 2022, we would like to continue to tackle the issue of language and culture education by deepening discussions on reorganizations and reforms through a focus on three perspectives – goals, environment, and technology. We do not see these as independent domains, but as fields of concern deeply related to each other. It is not a matter of solving the problem in just one area. The three are a whole and experts in each area must share their wisdom together. For example, consider education for internationalization in a world where study abroad is not possible. What then should the goals of such education be? What kind of environments should be prepared? To achieve better educational results, what sorts of technology ought to be used? Instead of tackling these

problems individually, we are expected to consider all constraints and possibilities, and work to find a best solution. In addition, we also recognize that as we look to form new methodologies and value sets, those of us involved in language and culture education cannot avoid discussions about the introduction of advanced information and communication technologies, especially those represented by artificial intelligence. We very much look forward to the active participation in these discussions from many educators and researchers from across the globe.

(<https://www.jacet.org/convention/2022-2/>)

■ 事務局より ■ Messages from Kansai Chapter

4月1日より、支部事務局が龍谷大学 今野勝幸研究室に移りました。1年間どうぞよろしくお願ひ申し上げます。連絡先は本ニュースレターの冒頭をご覧ください。

本年度の体制は、植松支部長、照井副支部長、中田副支部長を中心として、総務幹事を今野勝幸先生・斎藤、財務幹事を三木浩平先生・ハーバート久代先生、紀要幹事を竹田里香先生・西村浩子先生、広報幹事を藤村敬次先生・吉田諭史先生が務めます。この新体制で協力し合いながら、支部の活動を会員の皆様にとって有意義で、魅力的なものにしていきたいと考えております。

本年度の研究委企画委員会の体制として、委員長を山下美朋先生、副委員長を神野雅代先生、白井由美子先生、鳴田和美先生、松岡真由子先生、矢野浩二朗先生、山中司先生がご担当されることになりました。また新たに8名の先生方が研究企画委員としてご就任されました。心強い布陣で支部大会を盛り上げてまいります。皆様のあたたかいご理解とご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

2021年度でご退任なさった先生方から、以下のメッセージをいただきましたので、ご紹介いたします。これまで支部のためにご尽力いただき、誠にありがとうございました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

■ 退任のご挨拶 ■ Messages from Kansai Chapter Officers Completing Their Term of Office

◎旧副支部長・紀要編集委員長：里井久輝先生（龍谷大学）

短い期間ではございましたが、関西支部というすばらしいチームの一員として御一緒させていただき、大変お世話になりましたことあらためまして心より御礼申し上げます。JACET 関西のこれから益々の御発展と皆様の御活躍を衷心よりお祈り申し上げます。

◎ 旧総務幹事：仁科恭徳先生（神戸学院大学）

2020年度から総務幹事として JACET 関西支部の運

嘗に関わらせていただきました。支部長、副支部長、幹事の先生方、研究企画委員の先生方には大変お世話になりました。

特にこの2年間はコロナウィルスの影響で全ての行事がオンライン形式での開催となり、これまでとは異なるイレギュラーな対応ばかりでしたが、周囲の先生方のサポートやお力添えがあって、なんとか任期を無事に終えることができました。かれこれ20年以上お世話になっているJACET関西支部で、多くの素晴らしい先生方と一緒にさせていただけましたこと、心より感謝申し上げます。今後のJACET関西支部の益々のご発展をお祈りしております。

◎ 旧財務幹事：松田紀子先生（近畿大学）

研究企画委員として2期4年間、財務幹事として2020年から2年間、大変お世話になりました。この2年間は新型コロナウィルスによる影響で全ての行事と会議がオンライン形式で実施され、戸惑うことが多々ありました。しかし、そうした中で充実した日々を送ることができたのは、ひとえに責任感が強く、優秀な先生方に支えていただいたおかげと感謝しております。心より御礼申し上げます。貴学会の更なるご発展をお祈りいたします。

◎ 旧財務幹事：細越響子先生（京都府立大学）

2017年度から4年間を研究企画委員として、また2021年度は財務副幹事として大変お世話になりました。対面とオンライン形式というまったく異なる支部大会の運営に微力ながら関わることができ、幹事および研究企画委員の諸先生方の的確かつ真摯なご尽力のうえに学会が成り立っていることを学べたのは幸甚でございました。任期途中での退任となりご迷惑をおかけしましたが、貴重な経験をさせていただき心より感謝申し上げます。

◎ 旧広報幹事：多田さおり先生（追手門学院大学）

広報幹事として二年間関西支部にて担当させていただきました。新型コロナウィルス感染拡大の影響で様々なオンライン対応が求められる中至らない部分も多々あったと思いますが、皆様のお力添えにより何とか二年間を無事に終えることができました。多くの先生方に支えられ、たくさんのこと学び、様々な貴重な経験を得ることができました。ご助言、ご協力いただきました先生方に心より感謝申し上げます。関西支部の更なるご発展をお祈りいたします。

◎ 旧研究企画委員：上田眞理砂先生（立命館大学）

2019年度より、企画委員を経験できましたことに感謝しております。ご推薦下さいました先生、ありがとうございました。着任時に、2019年後期から1年間、英国の母校へ客員研究員として赴任が決定しておりましたので全期間、貢献できませんでした。申し訳ありませんでした。多くの先生方の献身的な御尽力があつて、支部の運営や支部大会が開催されるということを身を以て知ることができました。本

当にありがとうございました。

◎ 旧研究企画委員：五十川敬子先生（同志社大学）

2期4年間、研究企画委員としてお世話になりました。困難な状況の中でも細やかな配慮を忘れず、柔軟かつ迅速に対応されていた先生方のお姿には学ぶことが多い、貴重な経験をさせていただきました。閉塞感を感じたコロナ禍でしたが、先生方のお知恵とオンラインでできるさまざまな機能を掛け合わせると、可能性は無限に広がるのではないかという希望さえ感じます。JACET関西支部の益々のご発展と先生方のご活躍を祈念申し上げます。

◎ 旧研究企画委員：金澤佑先生（関西学院大学）

研究企画委員として4年間お世話になりました。支部大会の準備や査読等への参加を通じて、大学の垣根を超えた様々な先生方との貴重な共同経験をさせていただくことができ、感謝しております。特に2021年度の大会ではインテラクションルームという新しい企画の立案や実施にサロンマスターとして関わらせていただいたことが懐かしく思い出されます。JACET関西支部の今後の更なるご発展をお祈りいたしますとともに、引き続きどうぞ宜しくお願ひ致します。

◎ 旧研究企画委員：山岡華菜子先生（龍谷大学）

2018年度からの4年間、研究企画委員としてお世話になりました。委員を務めることで、普段お話しできる機会の持てないような先生方と沢山交流させていただくことができたことが何よりの財産となりました。また、大会を運営してゆくことの大変さを学び、多くの先生方に助けていただきながら任期を終えることができました。4年間ありがとうございました。

◎ 旧研究企画委員：釣井千恵先生（桃山学院大学）

2019年度より、研究企画委員として大変お世話になりました。研究企画委員としての活動の中で、先生方のご研究に触れる機会をいただき、大変勉強になりました。ご迷惑をおかけすることも多々ございましたが、大変お世話になり、感謝しております。JACET関西支部の益々のご発展、皆様のご活躍を祈念いたしております。

◎ 旧研究企画委員：平井愛先生（神戸学院大学）

短い間ではありましたが、先生方と一緒にでき大変勉強になりました。ありがとうございました。コロナで通常運営もできず非常に大変な時ですが、今後の学会のご繁栄をお祈りしております。

■ 会員情報の変更 ■

支部会員向けの各種案内の配達やメーリング・リストによる情報の配信に使用いたしますので、会員情報（住所、メールアドレス、所属、電話番号等）

が変わられた方は、必ずご連絡ください。なお、関西支部では名簿の作成・管理は行っておりません。

会員情報の変更のご連絡は、本部事務局
(jacet@zb3.so-net.ne.jp) までお願いいたします。

Please immediately report any changes in your address, affiliation, e-mail address, telephone number, and other information to the **JACET Main Office** (jacet@zb3.so-net.ne.jp).